

洞爺湖有珠山ジオパーク再審査

高評価で終了

洞爺湖有珠山ジオパークの4年に1度の世界認定再審査にかかる現地審査が、7月24日～27日の日程で実施され、国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の担当部局から指名を受けたニコラス・ゾウロス教授（ギリシャ）とジョゼ・ブリアルハ准教授（ポルトガル）が当地を訪れ、2009年の世界認定から現在までに実施してきた各種取組を審査しました。

伊達市防災センターで開かれ



旧とうや湖幼稚園を審査する世界ジオパークの審査員と洞爺湖有珠山ネットワークの関係者

た歓迎セレモニーでは、山谷吉宏副知事が「この地域の防災活動は『ひとつのモデル』となっている。」「地域住民が世界ジオパーク認定を受けた誇りや責任感のもと幅広い活動を展開してきた」と活動実績を大きくアピールし、真屋敏春町長（洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会会長）は「噴火災害の経験を蓄積・伝承し、次なる災害に備えることで『火山との共生』を実現していく。この思想を人類の共有財産とするためジオパークを先導的に推進する責務を果たす」と力強く訴えました。

フィールド審査では、

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館、金比羅火口災害遺構、旧とうや幼稚園のほか、伊達市の北黄金貝塚、アルトリ岬善光寺自然公園や、壮瞥町の昭和新山、三松正夫記念館などを巡り、壮瞥

町地域交流センター山美湖で開催された交流会では、洞爺湖温泉利用協同組合による環境保全の取組紹介や、豊浦町内のジオサイトの魅力や壮瞥中学校でのジオパーク教育などに関するプレゼンテーションも行われました。

審査後に行われた講評では、ブリアルハ准教授から「構成自治体のジオパークへの積極的関与や火山マイスターによる地域活動の広がりには既に成功のレベルにあり、各国のジオパークが学ぶべき点も多い」と高い評価を受けました。また、ゾウロス教授は地域の防災教育に関し「ジオパークを学びの場と位置づけ、自然災害に関する教育が充実している」と評価し、さらに、民間事業者や行政による地場産品プロモーションに関し「地域との結びつきを強める良い実践例であり、ジオパークにより更に付加価値を高められるはず」と食に関する取組にも強い期待感を示しました。

再審査の結果は、世界ジオパークネットワーク本部における会議において認定の可否が決定され、9月中旬頃通知されます。

地域のお祭りに出かけてみよう！



	日 程	主 な 内 容	詳 細
泉八幡神社祭典	8月14日(水)・15日(木)	14日運動会、出店、カラオケなど／15日子供神輿、出店など	杉上正美実行委員長 (☎76-3644)
虻田神社例大祭	8月16日(金)・17日(土)・18日(日)	16日子供相撲、ステージでのショー／17日海上渡御、神輿、ステージでのショー、抽選会／18日パークゴルフ大会	実行委員会 (☎76-2088)
香川出雲神社祭典	9月7日(土)・8日(日)	7日獅子舞・ビンゴ・カラオケなど／8日獅子舞	田中利一自治会長 (☎82-5311)
大原相馬妙見神社祭典	9月7日(土)・8日(日)	7日ゲーム、屋台／8日子供相撲、ビンゴゲームなど	大西智自治会長 (☎82-5900)
成香神社祭典	9月7日(土)・8日(日)	7日バザー／8日神輿、子供相撲など	星博明自治会長 (☎82-5678)
花和神社祭典	9月7日(土)・8日(日)	8日ビンゴゲーム、カラオケ大会	塩野谷幸一祭典担当 (☎83-3372)
洞爺湖神社御祭禮	9月7日(土)・8日(日)	7日パークゴルフ大会など／8日子供神輿、ビンゴゲームなど	大塚政幸さん (☎75-2578)
洞爺八幡神社例大祭	9月14日(土)・15日(日)	14日屋台、ビンゴなど／15日獅子舞	奥村一雄神社総代 (☎87-2287)
月浦八幡神社祭典	9月14日(土)・15日(日)	14日獅子舞、バーベキュー／15日獅子舞、カラオケ、抽選会	中村喜一自治会長 (☎75-3276)